

子どもを“深い学び”へ導く算数教材選び

教材「アイテム」による授業改善

活用力と思考力を高める

学習指導要領が重視する「主体的・対話的で深い学び」や、活用力の育成に対応する授業づくりを多くの学校現場が模索している。NPO法人次世代教育推進機構と、筑波大学附属小学校、算数研究部が開発した教材「アイテム」は、質の高い問題を豊富に収録し、「学習テーマの理解」「活用」「探究」と段階的に力を伸ばせる構成で、活用力や思考力育成に加え、協働的な学習の題材としても評価が高い。各校での活用状況と授業改善の取り組みを紹介する。

学校全体で取り組む学力向上策

福岡県・福岡市立別府小学校

「共通理解・共通実践」を軸に

どの学年の子も伸びる学校へ
福岡市立別府小学校
△委託校に導入して、算数の見方考え方の活用を始めた。

福岡市立別府小学校では、委託校に導入して、算数の見方考え方の活用を始めた。近隣の委託校に導入して、算数の見方考え方の活用を始めた。

本校では、算数の見方考え方の活用を始めた。近隣の委託校に導入して、算数の見方考え方の活用を始めた。



早く解ければ「アイテム」に挑戦する。すぐに実践できる「アイテム」を活用する。

自ら考える力の育成を目指す

愛知県・一宮市立貴船小学校

協働的な学習の基盤づくり

自ら解き進む力 重点的に鍛える
一宮市立貴船小学校
「算数の得意な子は自ら解き進む力」を重点的に鍛える。



等時間で「アイテム」を活用。問題を解き、答え合わせまで自分で取り組む。

できる喜びが

2年目に入る、授業が定着した教材活用が定着。空き時間に自主的に「アイテム」に取り組む子どもが増えている。この日は鈴木教諭が担任する5年生の授業。面積の求め方を考えるように、アイテムを活用するシーンが見られた。

校内部会で活用方法を検討・提案

後半は応用問題として同じ平行四角形の高さの異なる4つの三角形の内積を比べる問題を出題。教諭は「予想では、同じ面積になるはず」と見込みを持っていた。

校内部会で活用方法を検討・提案。後半は応用問題として同じ平行四角形の高さの異なる4つの三角形の内積を比べる問題を出題。

校内部会で活用方法を検討・提案。後半は応用問題として同じ平行四角形の高さの異なる4つの三角形の内積を比べる問題を出題。

校内部会で活用方法を検討・提案。後半は応用問題として同じ平行四角形の高さの異なる4つの三角形の内積を比べる問題を出題。

「アイテム」が授業設計の参考

北海道・札幌市立北九条小学校

学校の課題意識を踏まえた教材選定

札幌市立北九条小学校(北九条一校)では、平成28年度から3年生以上で「アイテム」を採用している。市内でも学力上位に入る同校の子も多かったが、「答えを出すことで満足してしまいがち、学び合いに発展しない傾向が見られた」と矢野教諭(教務主任)は言う。

学び合いの良さを実感できる授業づくりへ

北海道・札幌市立北九条小学校

学校の課題意識を踏まえた教材選定

札幌市立北九条小学校(北九条一校)では、平成28年度から3年生以上で「アイテム」を採用している。市内でも学力上位に入る同校の子も多かったが、「答えを出すことで満足してしまいがち、学び合いに発展しない傾向が見られた」と矢野教諭(教務主任)は言う。

札幌市立北九条小学校(北九条一校)では、平成28年度から3年生以上で「アイテム」を採用している。市内でも学力上位に入る同校の子も多かったが、「答えを出すことで満足してしまいがち、学び合いに発展しない傾向が見られた」と矢野教諭(教務主任)は言う。

「アイテム」が子どもの探究心を刺激

札幌市立北九条小学校

学校の課題意識を踏まえた教材選定

札幌市立北九条小学校(北九条一校)では、平成28年度から3年生以上で「アイテム」を採用している。市内でも学力上位に入る同校の子も多かったが、「答えを出すことで満足してしまいがち、学び合いに発展しない傾向が見られた」と矢野教諭(教務主任)は言う。

活用する力を身につける

田中博史 副校長

活用する力を身につける

「アイテム」では、各単元において「活用・探究」を軸に構成されています。習得では小範囲で使えるように1ページを2分冊、活用探究では、面白い内容を精選し、知的好奇心を満たす工夫を凝らしています。

「アイテム」では、各単元において「活用・探究」を軸に構成されています。習得では小範囲で使えるように1ページを2分冊、活用探究では、面白い内容を精選し、知的好奇心を満たす工夫を凝らしています。

算数の力を伸ばす

山本隆史 教諭

算数の力を伸ばす

「アイテム」では計算ドリルから発展問題まで様々なタイプの問題を用意しています。基礎・基本の定着はもちろん、発展的な問題を通じて、基礎・基本を応用する面白さを味わわせることを目指しています。

探究心を伸ばす

山本隆史 教諭

探究心を伸ばす

低学年で「考える力をつけよう」、高学年で「活用する力をつけよう」の目標を設定しています。授業で使うため、2回程度に分けて取り組むようにしていますので、確実に「活用する力」を伸ばすことができます。

低学年で「考える力をつけよう」、高学年で「活用する力をつけよう」の目標を設定しています。授業で使うため、2回程度に分けて取り組むようにしていますので、確実に「活用する力」を伸ばすことができます。

算数を面白いと感じる子どもを増やす

大野 佳 教諭

算数を面白いと感じる子どもを増やす

「アイテム」には、すでに算数の活動が充実している授業実践を、各領域ごと「授業でわかる」と題して掲載しています。「算数って面白い」と感じる子どもを増やすことにつながればと思っています。

授業中の「Item」

森本隆史 教諭

授業中の「Item」

「アイテム」には、知識・技能の定着を図るだけでなく、子どもたちが考えたくなるもの、子どもたちが数学の見方・考え方を働かせる場が出てくるものが多くあります。「アイテム」を使って授業をして、深い学びが実現できることを目指しています。

「アイテム」には、知識・技能の定着を図るだけでなく、子どもたちが考えたくなるもの、子どもたちが数学の見方・考え方を働かせる場が出てくるものが多くあります。「アイテム」を使って授業をして、深い学びが実現できることを目指しています。